

【プレスリリース】「アントニ・ガウディ. 建築と芸術：没後 100 年特別展」、東京で開幕

「曲線の巨匠を体感する。東京を魅了する究極のガウディ展 — そのすべてを、バルセロナから東京へ」

- 「ガウディ・イヤー2026」の記念事業の一環として、アントニ・ガウディ評議会の協力のもと開催。
- 本物の建築図面、模型、公式アーカイブが、バルセロナの息吹を東京へ。
- 都心の一等地・東急プラザ渋谷で展開する、多層的な美の体験。
- 公式グッズと五感に訴える空間演出で、巨匠建築家の世界に没入する旅。

スペインが生んだ伝説の天才建築家、アントニ・ガウディ。その没後 100 年を記念する公式の大型特別展が、東京で開幕します。2026 年 11 月 28 日（土）から 2027 年 1 月 27 日（水）まで開催される「アントニ・ガウディ. 建築と芸術：没後 100 年特別展」（Antoni Gaudí. Architecture and Art : Special Exhibition Commemorating the 100th Anniversary of His Death）は、「ガウディ・イヤー2026」の一環として開催されます。

本展は、カタルーニャ州政府の諮問機関「アントニ・ガウディ評議会（Consell Antoni Gaudí）」の協力を得た、比類ない権威と質の高さを誇る展覧会です。7 つのユネスコ世界遺産を遺した巨匠を単に商業的な視点で取り上げるにとどまらず、構造・機能・美を一体化させたガウディの「総合芸術（Gesamtkunstwerk）」の思想を深く掘り下げます。

特に、ETSAB アーカイブ（カタルーニャ工科大学ガウディ講座）、カタルーニャ・ラ・ペドレラ財団、カサ・バトリヨ、カサ・ピセンス、カサ・ボティネス、グエル邸、ベリエスグアルド邸、バルセロナ・デザイン博物館をはじめとする主要アーカイブ、さらに各種の個人コレクションや写真アーカイブから厳選された 160 点の作品を、かつてない規模で公開します。貴重な自筆の建築図面、水彩画、精緻な立体模型、オリジナルの家具、装飾鉄細工などを通して、初期作品やマタロー労働者協同組合のためのプロジェクト、エウゼビ・グエルの依頼による主要作品、カサ・カルベット、カサ・バトリヨ、カサ・ミラ「ラ・ペドレラ」をはじめとする都市住宅の代表作、そして生涯をかけた傑作サグラダ・ファミリアに至るまで、巨匠の目覚ましい軌跡を浮かび上がらせます。

本展はチャロ・サンファン氏のキュレーションのもとに構成され、イントロダクションと 8 つのテーマセクションを通じて、ガウディの建築思想と芸術家としての歩みの全体を、ひとつの物語として有機的に紡ぎます。

各セクションは、同時代の巨匠たちとの協働の記録を紹介する「建築を学ぶガウディ——優れた助手としての活躍」、初の独立プロジェクトと社会への眼差しを示す「建築家としての第一歩」、装飾芸術と建築構造の境界を溶かした「初期作品」、後援者とともに生まれた傑作に光を当てる「アントニ・ガウディとエウゼビ・グエル」、「ベリエスグアルド邸」、カサ・ミラやカサ・バトリヨなどの住宅作品を取り上げる「都市住宅の進化」、卓越した職人技を映し出す「デザ

イナーとしてのガウディ」、そして生涯をかけた集大成「サグラダ・ファミリア聖堂」で構成され、ガウディの創造世界を多角的に浮かび上がらせてます。

さらに、来場者が巨匠の建築世界を体感できるよう、イマーシブな空間デザインと展覧会公式グッズもご用意しています。

本展の東京会場は「東急プラザ渋谷」3階展示会場です。東京を皮切りに大阪へと巡回する本展は、時代を超えたガウディの建築遺産と芸術的ビジョンを、日本全国の皆様に広くご紹介します。

【添付資料 1】展覧会概要・チケット情報

（公式サイト：「[アントニ・ガウディ. 建築と芸術：没後 100 年特別展](#)」）

- 展覧会名：「アントニ・ガウディ. 建築と芸術：没後 100 年特別展」（Antoni Gaudí. Architecture and Art : Special Exhibition Commemorating the 100th Anniversary of His Death）

- 会期：2026 年 11 月 28 日（土）～2027 年 1 月 27 日（水）

- 開館時間：11:00～22:30（最終入場 21:30／1 時間ごとの日時指定入場制）

- 会場：東急プラザ渋谷 3F、東京

- チケット予約：チケットぴあ／<https://w.pia.jp/t/gaudi100/>

- 入場料：

区分	早割券		
	平日	土日祝	スーパーパス
一般	¥ 2,300	¥ 2,800	¥ 3,500
中高生	¥ 1,700	¥ 2,200	¥ 2,900
小学生・幼児（3 歳以上）	¥ 800	¥ 1,300	¥ 2,000
区分	前売券（オンライン販売）		
	平日	土日祝	スーパーパス
一般	¥ 2,800	¥ 3,300	¥ 4,000
中高生	¥ 2,000	¥ 2,500	¥ 3,200
小学生・幼児（3 歳以上）	¥ 1,100	¥ 1,600	¥ 2,300
区分	当日券		

	平日	土日祝	スーパーパス
一般	¥ 3,100	¥ 3,800	¥ 4,500
中高生	¥ 2,300	¥ 3,000	¥ 3,700
小学生・幼児（3 歳以上）	¥ 1,400	¥ 2,100	¥ 2,300

- 参加機関：100 Antoni Gaudí、カタルーニャ州政府（Generalitat de Catalunya）、アントニ・ガウディ評議会（Consell Antoni Gaudí）

- 主催：CSTS

- 共催：AUREA、Brand Architects（BA）、MOAT Experience

- 協力：AIRE

【添付資料 2】会場紹介・アクセス

- 住所：〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-2-3 東急プラザ渋谷 3F

- アクセス：

- 電車：JR 山手線・京王井の頭線「渋谷駅」西口より徒歩 1 分／東京メトロ・東急線「渋谷駅」5 番出口より徒歩 2 分

- 車：首都高速 3 号渋谷線をご利用ください（地下駐車場あり：B3F／7:00～23:30）

【添付資料 3】主要テーマセッション（全 8 セクション）

イントロ：ガウディとは何者か？

ガウディが創り出した、壮大な曲線と光の世界へようこそ。本セッションでは巨匠の生涯と芸術的ビジョンに焦点を当て、自然と技術が溶け合うところから生まれた比類ない遺産へと、来場者を深く誘います。

セクション 1：建築を学ぶガウディ——優れた助手としての活躍

同時代の巨匠たちとの協働のなかで卓越した実務能力を発揮した、アントニ・ガウディの青年期の記録です。初期の図面や設計案を通して、きわめて独創的なガウディの建築世界が形づくられ始めた瞬間を浮かび上がらせます。

セクション 2：建築家としての第一歩

社会への眼差しと独自の造形美学が交差する地点から生まれた、アントニ・ガウディ初の独立プロジェクトを紹介します。マタロー労働者協同組合のためのプロジェクトを通して、巨匠独自の構造技法と創造的な実験精神の萌芽をご覧ください。

セクション 3：初期作品

カサ・ビセンス、テレサ学院、カサ・ボティネス

装飾芸術と建築構造の境界を溶かしながら広がっていった、ガウディの創造的ビジョンを探ります。多様な初期プロジェクトを通して、自然の美と構造の革新がひとつの完成された建築言語へと結実した瞬間をとらえます。

セクション 4：アントニ・ガウディとエウゼビ・グエル

後援者エウゼビ・グエルとの結びつきから、ガウディの最高傑作の数々が花開きました。本セクションでは、グエル別邸のパビリオン、グエル邸、グエル公園、コロニア・グエル教会堂を一堂に集めます。豊富なオリジナル資料と洗練された展示構成により、二人の非凡な才能が切り拓いた大胆で先見の芸術の世界へと来場者を誘います。

セクション 5：ベリエスグアルド邸

ガウディの卓越した手腕が歴史の記憶に溶け込んで生まれた、ベリエスグアルド邸の美を紹介します。精緻な模型とオリジナルの記録資料を通して、歴史的遺産と近代的な造形美学を調和させた、ガウディ独自の建築哲学を体感してください。

セクション 6：都市住宅の進化

カサ・カルベット、カサ・バトリョ、カサ・ミラ「ラ・ペドレラ」

都市の生活空間に息吹を与えた、ガウディを象徴する住宅作品を紹介します。壮麗なファサードや彫刻のような屋上から精緻な室内装飾まで、多彩なオリジナル作品が画期的な美学によって日常の環境を一変させた巨匠の建築的革新を物語ります。

セクション 7：デザイナーとしてのガウディ

精巧な装飾や鉄細工に至るまで、あらゆるディテールが一体となったガウディのデザイン世界に光を当てます。自然の造形美と卓越した職人技が融合する、洗練されたオリジナル資料を通して、「総合芸術」の真髄に触れてください。

セクション 8：サグラダ・ファミリア聖堂

巨匠が生涯をかけた集大成、サグラダ・ファミリアの壮大な物語の世界へ。構造の革新と精神的な象徴性が融合する代表的な模型と貴重な歴史資料を展示します。そこから浮かび上がるのは、ガウディ晩年のインスピレーションと気高い建築哲学という、100 年を超えてなお育ち続ける遺産です。

【添付資料 4】主要キービジュアル・著作権表記

NO	作品名・著作権表記
1	アントニ・ガウディ 《棧橋計画：側面図》1876 年 10 月 19 日 ©Fons Arxiu EtsaB・Càtedra Gaudí. Universitat Politècnica de Catalunya
2	《マタロー労働者協同組合：アントニ・ガウディによる都市開発計画案》 ©Arxiu Aurea Cultura i Art
3	《カサ・ビセンス：喫煙室》2017 年 ©Casa Vicens Gaudí. Photo: Pol Viladoms
4	《カサ・ビセンス：喫煙室のタイル》1883～1885 年頃 ©Casa Vicens Gaudí
5	アントニ・ガウディ 《グエル公園：正門の守衛所と付属棟》1904 年 ©Fons Arxiu EtsaB・Càtedra Gaudí. Universitat Politècnica de Catalunya
6	フランセスク・ベレンゲール 《グエル公園内ガウディの家：ファサードのスケッチ》1905 年頃 ©Fons Arxiu EtsaB・Càtedra Gaudí. Universitat Politècnica de Catalunya
7	アントニ・ガウディ 《グエル公園：「トレンカディス」（破碎タイル装飾）の断片》1904 年

	©Fons Arxiu EtsaB・Càtedra Gaudí. Universitat Politècnica de Catalunya
8	《ベリエスグアルド邸：屋根裏の模型》 ©Fundació Catalunya La Pedrera. Photo: Pau Giralt-Miracle
<u>9</u>	アントニ・ガウディ 《カサ・ミラ「ラ・ペドレラ」：ファサード》1906 年 ©Fons Arxiu EtsaB・Càtedra Gaudí. Universitat Politècnica de Catalunya
<u>10</u>	《釉薬タイルで覆われたカサ・バトリヨの中庭》 ©Casa Batlló
11	アントニ・ガウディ 《カサ・カルベット：カルベット氏の事務室のためのコート掛け》1900 年 ©Fons Arxiu EtsaB・Càtedra Gaudí. Universitat Politècnica de Catalunya
12	アントニ・ガウディ 《カサ・ミラ「ラ・ペドレラ」：ファサードの窓格子》1910 年頃 ©Fundació Catalunya La Pedrera. Foto: Xavier Padrós
13	アントニ・ガウディ 《サグラダ・ファミリア聖堂：全体平面図》1885 年 ©Ajuntament de Barcelona. Arxiu Municipal Districte de Sant Martí
14	《サグラダ・ファミリアの工事現場を視察する教皇大使フランチェスコ・ラゴネージ枢機卿、バルセロナ司教エンリッ ク・レッチとガウディ》1915 年 7 月 ©Fons Arxiu EtsaB・Càtedra Gaudí. Universitat Politècnica de Catalunya
15	《サグラダ・ファミリア聖堂：ガウディ没後まもない工事の状況》1927 年 ©Fundació Institut Amatller d'Art Hispànic. Arxiu Mas

日本主催者について

株式会社 MOAT Experience Global（韓国）は、K-POP、K-ウェブトゥーン、K-ドラマといったグローバルなメガ K-IP を、展示会やポップアップの形でアジア全域のファンが直接体験できるよう企画・運営する、K コンテンツ体験事業の専門企業である。日本現地法人である株式会社 MOAT Experience（日本）とともに、本展『アントニ・ガウディ. 建築と芸術: 没後 100 年特別展』の日本主催者として参画している。

MOAT Experience Global は、『俺だけレベルアップな件』アジアツアー展をはじめ、グローバル K-POP アーティスト展など K コンテンツの二次事業の拡大を牽引しており、今回の東京展を起点に、日本の主要都市からアジア、米州・欧州へと続くグローバルツアーを展開している。

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先**MOAT Experience Global [韓国]**

カン・ヘミ 取締役・hm.kang@moatexperience.com

イ・ヒョミン チーム長・heidi.lee@moatexperience.com

MOAT Experience [日本]

ファン・セハ マネージャー・seha.hwang@moatexperience.com